



落花生栽培情報



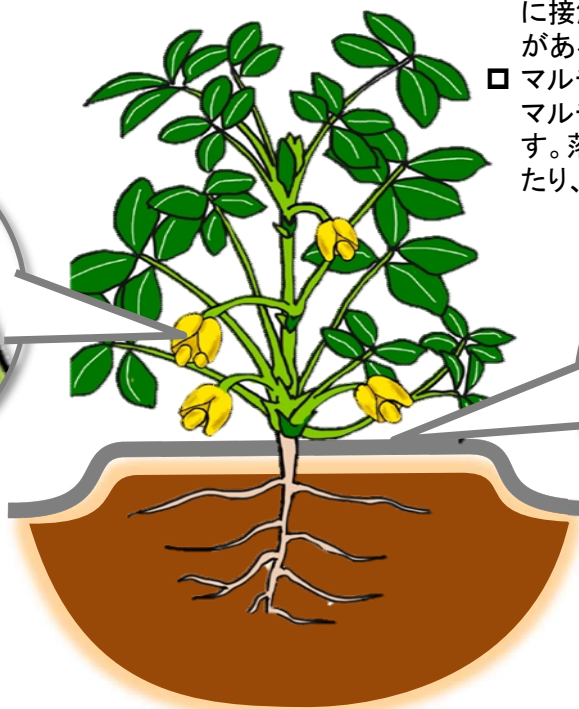
No.3

1. 落花生の基礎知識

- この花は朝咲いて昼頃には萎んでしまいます。最終的には1本の株で250～300の花芽をつけます。
- 1週間もするとしぼんだ花の根本から紐のようなもの(子房柄といいます)が伸びてきます。この紐がだんだん伸びて土の中に入って2～3cmのその先端に落花生の莢をつけます。

2. 落花生の観察と管理

- 発芽してから40日ぐらい経つと小さな黄色い花が咲いてきます。



- マルチ栽培では、子房柄はマルチを通過し、地中に莢ができます。
- 黒マルチの場合、子房柄がマルチに接触する際、焼けて枯死することがあるので注意が必要です。
- マルチの厚さによっては、子房柄がマルチを通過出来ない場合があります。落花生を観察してマルチを破ったり、取るなど対応をしましょう。



3. 莢ができるまでと落花生の肥大

落花生は水をそれ程必要としませんが、子房柄が土に伸びる時期に乾燥している場合は灌水します。特に梅雨明け後の高温に注意しましょう。



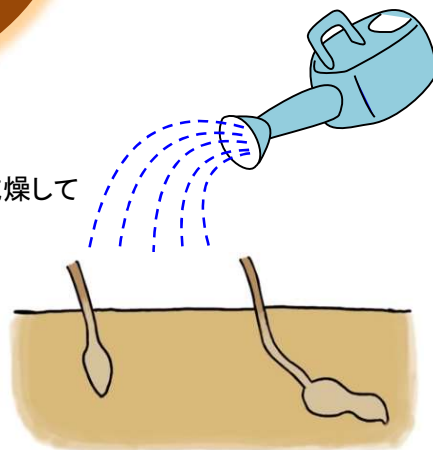
- ① 開花
花は翌日にはしおれる。



- ② 子房柄
枯れ始めた花は脱落する。



- ③ 開花後3日目
子房柄が伸び始める。



- ④ 土にもぐり始める。
先端部は土の中で肥大し始める。